

第5回エリア懇談会を開催しました。

第5回エリア懇談会では、第4回エリア懇談会で出された意見を元に、テーマを設定し、北斎通りの修景や現状の地域資源や課題、取り組みなどについて、意見交換を行いました。

開催概要

- 日時：平成27年6月24日（水）18時30分から20時
場所：家庭センター 第1講習室
出席者：石原三～四丁目町会、亀沢一～四丁目町会、
北斎通りまちづくりの会 計13名
事務局：墨田区都市計画課、観光課 計6名

北斎通りのあり方と賑わいづくり テーマに関するご意見

北斎通りの修景イメージについて

- ・墨田区一番のメインストリートなので、もっと大勢の人に出て頂いて、いろいろな意見を聞いた方がよい。
- ・自転車レーンのブルーの色が気になる。
- ・通りがきれいになるのだから、沿道の取り組みが大事だと思う。
- ・区役所通りも、幅員が広いので、自転車が通れるように整備してほしい。

周辺の地域資源とその見せ方について

- ・イベントから始めるのではなく、深い歴史文化をあぶり出して見せていけるとよい。
- ・住んでいる方がいい文化を感じ、いい暮らしができるとうい。
- ・江川太郎左衛門は日本の工業化の転換点に関わりが深い。そういった様々な歴史を入れないうもったいない。
- ・北斎を切り口にすると、同じ時代に日本で起きた様々なことが繋がってくる。北斎だけではもったいない。
- ・昔の地図の上に新しい地図を乗せて楽しめるとよい。
- ・藤沢周平、芥川龍之介、池波正太郎といった両国と由縁のある方の本の舞台を知らせるものがあってもよい。
- ・循環バスの中で地域資源のコマーシャルをやった方がよい。
- ・野見宿禰神社は相撲ファン、外国人に人気がある。もう少し入りやすくなるとよい。
- ・相撲部屋をもっと開放して交流できるようになるとよい。
- ・山岡鉄舟の碑など小さくてもったいない。大きくしてはどうか。

すみだ北斎美術館を起点とした動線づくり

- ・北斎美術館を訪れた人の歩く範囲は、両国駅から野見宿禰神社、北は YKK の前の通りまでだと思う。
- ・北斎美術館、江戸東京博物館、回向院、東京都慰霊堂と、歴史文化を辿って見せられるとよい。
- ・美術館の館内サインと、江戸東京博物館、まちのサインに、共通の物語性、方向性を持たせるとよいのではないか。
- ・周辺の美術館や博物館を何日間かに渡って回れるパスのようなものがあるとよい。
- ・高札に、次の高札の案内があるなど、連続して、他の資源を発見できるようになるとよい。
- ・美術館を訪れる方はいろいろな興味を持ってくる。そういった方にマップなどで次の目的を提供できるとよい。
- ・歩いていても、休憩する場所と喫茶店が少ない。
- ・蔵前橋通りは、地域の人向けの店が多い。生活商店街だと思う。
- ・小布施町は北斎館ができて、自然発生的に店ができた。
- ・妹島和世氏の北斎美術館、菊竹清訓氏の江戸東京博物館、槇文彦氏の刀剣博物館など世界的デザイナーがつくるまち。北斎通りは建築ストリートになるのではないか。
- ・歩きやすい道路にしてあげればよいと思う。サイン、腰を下ろす場所と木、水飲み場といった場所があればよい。
- ・ちょこっと腰をかけられるくらいのベンチが必要。
- ・飲食店などがあれば、訪れた方が美術館の帰りに食べようと思える。

北斎通り沿道の街並み誘導について

- ・現状、駐輪場の確保などで商店が入れるようにつくりにくい。商店が入りやすかったり、ベンチを置きやすくなるとよい。
- ・現在の地区計画、集合住宅条例はランドデザインのまちの活性化の視点を反映しにくい。
- ・建替え協議の中で、マンションの一階にベンチを置くといったことにも取り組んできている。
- ・民間の土地にポケットパークを作るときに、北斎通りに面して作ってもらえればよい。管理もしやすい。
- ・一階に雨やどりができるひだのようなものができてくるとよい。

今後の取り組み、アイデア

- ・ライバルは清澄白河だと思う。似ているまちだと思う。見学できるとよい。
- ・北斎美術館はそれほど広くない。沿道で賑わいをつくるのが大切だ。
- ・現在も公園の掃除等の美化活動に取り組んでいる。
- ・意識の高い人に店を出してほしいし、住んでほしい。そうすれば自ずと観光客も来る。
- ・戦後 70 年経ち、当時を知る人も少なくなってきた。早く聞いておいた方がよい。